

行田を紐解く、
歴史ツアー



緑色の外観が目を引く木造建築。
行田の足袋産業を金融面から支えてきた



埼玉県行田市水城公園2305
☎048-556-4330
🕒11:00~16:00
🗓️火曜~木曜、祝日
📍行田市駅南口から徒歩15分
※テイクアウト商品については
お問合せください

ヴェールカフェ
VERTCAFÉ
(旧忍町信用組合店舗カフェ)



ゼリーフライピタサンド858円 たっぶりの地元野菜と行田在来青大豆のゼリーフライをピタパンと一緒に



1922年に建てられた「下見板コンクリアル様式」の木造洋館を移築し、当時の美しい姿に改修して2018年にカフェとしてオープン。元々は足袋関連の企業間決済業務を多く取り扱っていた旧忍町信用組合の店舗兼事務所、行田市指定有形文化財になっている。行田の食材を使ったご当地メニューのほか、キッズメニューが豊富なため、親子でも安心して利用しやすい。水城公園全体を見渡すことができる窓からの眺望は格別だ。

大正モダンな洋館が
ほっと一息



行田セット 319円
(れんこんナゲット・小松菜・豆腐)



歴史ある建物でグルメ!



元奥買商店の足袋蔵として使われていた土蔵造りの建物。白い壁が印象的。

行田では近世以降、縫製技術を生かした足袋づくりが始まり、最盛期は全国の足袋生産の80%を占めるまでに。防火、防寒対策を施した保管用の足袋蔵は、今もまちのあちこちに残されています。2017年には「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が日本遺産に認定。最近では、長い歴史を誇る建物を生かしたお食事スポットが次々誕生!時代の息吹を感じながら「行田グルメ」を楽しみたい。

せいろ蕎麦830円

蕎麦 あんど



人情ある建物を生かした
贅沢な和食に舌鼓



埼玉県行田市天満3-13
☎048-553-3110
🕒11:00~14:00、17:30~20:00
※変更になる場合がありますので
お出かけの前にお問合せください
🗓️月曜、第2火曜
📍行田市駅南口から徒歩10分

「身体に美味しい」をコンセプトに天然素材でつくる、そばと創作料理の店。大正昭和初期に建てられた奥買蔵と呼ばれる足袋蔵を改装した店内は、洗練されたデザインながら、居心地の良いカフェのようなたたずまい。コシがあり、ふくよかな香りの福井県産そば粉をメインに、埼玉県入間市産や北海道産など時期に合わせて仕入れる良質のそば粉を使用し、打ち立てを提供している。そばや和食に合う日本酒の種類が豊富なのも嬉しい。



太い梁や柱を生かした温かみのある店内。歴史の重みを感じられる